



履 歴 書

(1)

ふりがな	ながだい たろう				性別		
氏 名	(姓) (Last)	長大		(名) (First)	太郎		男
	平成	10	年	5	月	5	日
	改 姓	ふりがな 旧 氏 名		ひぜん 肥前		旧姓使用 希望の 有無	無
生年月日	昭和	49	年	1	月	10	日
	履歴書作 成日現在 満年齢	(33 歳)		(2)国籍	日本国		
住 所	〒 8 5 1 - 2 1 2 6 長崎県長崎市文教町1 - 1 4						
電話番号	(自 宅)	095 - 819 - 2032			(携 帯)	090 - XXXX - XXXX	
メールアドレス	cyodai taro@nagasaki-u.ac.jp						

写真貼付

作成日前6月以内に撮影した鮮明な写真(白黒・カラー又は画像ファイル貼り付けのいずれも可、上半身、正面向、脱帽)

タテ 3.5 ~ 4.0
 x
ヨコ 3.0 ~ 3.5

(3)

高等学 校 大 学 短 大 高 等 専 門 学 校 専 門 学 校 等	元号	年	月	~	元号	年	月	学校等名称(学校、学部、学科、コース)	修学年数	修了区分	夜間・通信
		昭和	46	4	~	昭和	48	3	長崎県立〇〇高等学校普通科	2	転学
	昭和	48	4	~	昭和	49	3	長崎県立〇〇高等学校普通科	3	卒業	
	昭和	49	4	~	昭和	50	3	〇〇大学〇〇部〇〇〇〇学科	1	退学	
	昭和	50	4	~	昭和	55	3	〇〇大学〇〇学部〇〇学科 (休学 昭和53年4月1日~昭和54年3月31日)	4	卒業	
				~							
				~							

(4)

大 学 院	元号	年	月	~	元号	年	月	学校等名称(学校、研究科、専攻、課程)	修学年数	修了区分	備考
		平成	8	4	~	平成	10	3	〇〇大学大学院〇〇学研究科〇〇学専攻修士課程	2	修了
	平成	10	4	~	平成	14	3	〇〇大学大学院〇〇学研究科〇〇学専攻博士課程(休学 平成12年4月1日~平成13年3月31日)	3	単位修得退学	
				~	平成	14	9	〇〇大学大学院〇〇学研究科〇〇学専攻博士課程		修了	
				~							

(5)

学 位	元号	年	月	日	学位区分	専攻分野	取得学校名	学位記番号	備考
		平成	10	3	25	修士	〇〇学	〇〇大学	99
	平成	14	9	30	博士	〇〇学	〇〇大学	甲9	
	平成	18	12	19	Ph. D	〇〇学	〇〇大学(英国)	999	

(6)

免 許 試 験 資 格 等	元号	年	月	日	名 称	備考
		昭和	50	7	15	危険物取扱者 甲種
	昭和	60	5	30	上級バイオ技術認定試験	
	平成	2	4	14	秘書技能検定試験一級	
	平成	10	4	3	看護師免許	
	平成	15	5	10	TOEIC 900	

(注) 訂正箇所は二重線で抹消のうえ捺印すること。

(7)

その他の期間(職歴等)						所属組織(部・課・研究室名)	職名	職務・研究従事内容	雇用形態	一週間あたりの 所定労働時間数	備考	
元号	年	月	～	元号	年							月
昭和	55	4	～	昭和	55	10	〇〇大学〇〇学部〇〇教授研究室	研究生	〇〇学の研究に従事	20		
昭和	55	11	～	昭和	56	3	日本学術振興会(〇〇大学大学院総合研究科)	特別研究員(DC)	〇〇学の研究に従事	29		
昭和	56	4	～	昭和	59	3	〇〇大学大学院総合研究科	ティーチングアシスタント	教育活動支援業務に従事	10		
昭和	59	4	～	昭和	61	3	(株)〇〇サービス 人材派遣部(〇〇病院へ派遣)	1種コーディネーター	〇〇病院において臨床開発支援業務に従事	派遣社員	40	
昭和	61	4	～	昭和	62	3	株式会社〇〇 〇〇管理部	事務職員	〇〇管理にかかる調査・報告書作成事務に従事	正規社員	40	
昭和	62	4	～	昭和	63	3	〇〇株式会社〇〇支店	〇〇部グループリーダー	店舗での販売、品出し、発注、精算業務に従事	嘱託	40	
昭和	63	4	～	平成	1	3	科学技術振興事業団戦略的基礎研究推進事業「〇〇研究プロジェクト」(〇〇大学大学院〇〇研究科へ派遣)	研究員	〇〇に関する研究に従事	正規職員	40	
平成	1	4	～	平成	2	3	(株)〇〇相貌研究所安全保障政策研究センター	参与	センターの運営及び〇〇についての調査・研究に従事	正規社員	40	
平成	2	4	～	平成	3	3	米国〇〇州立大学〇〇研究所〇〇部門	リサーチ・アソシエイト	〇〇に関する研究に従事	契約職員	40	
平成	3	4	～	平成	4	3	〇〇大学医学部附属病院〇〇科	医員	診療業務に従事	非常勤職員	32	
平成	4	4	～	平成	5	3	〇〇県立〇〇病院	技術吏員 〇〇科医長	診療業務に従事	正規職員	40	
平成	5	4	～	平成	6	3	国立〇〇病院	厚生技官 〇〇科部長	診療業務に従事	正規職員	40	
平成	6	4	～	平成	8	3	〇〇市立〇〇病院(平成6年8月24日～平成9年2月28日 育児休業)	看護師	看護業務に従事	正規職員	40	
平成	8	4	～	平成	9	3	〇〇大学〇〇学部〇〇学科(平成8年5月1日～平成9年2月28日 研究休職)	文部教官 講師	〇〇学に関する教育・研究に従事	正規職員	40	
平成	9	4	～	平成	13	1	〇〇大学〇〇学部〇〇学科	文部教官 助教授	〇〇学に関する教育・研究に従事	正規職員	40	
平成	13	1	～	平成	16	3	〇〇大学〇〇学部〇〇学科	文部科学教官 助教授	〇〇学に関する教育・研究に従事	正規職員	40	
平成	16	4	～	平成	19	3	国立大学法人〇〇大学〇〇学部〇〇学科	教育職員 助教授	〇〇学に関する教育・研究に従事	正規職員	40	
平成	19	4	～	平成	21	3	国立大学法人〇〇大学〇〇学部〇〇学科(平成20年3月31日退職見込み)	教育職員 准教授	〇〇学に関する教育・研究に従事	正規職員	40	
平成	9	4	～				学校法人〇〇学園〇〇大学〇〇学部(在職中)	非常勤講師	〇〇学に関する講義	非常勤職員	8	

罰事項 (必ず自筆で記入し、罰がないときは「無」と記入のこと)	無
------------------------------------	---

本履歴書は証書等又は関係機関等に直接確認のうえ相違脱漏なく記入したものであり記載内容に相違ありません。なお、万一、経歴詐称があった場合は懲戒解雇等の処分を課せられる場合がある他、採用後記載内容に誤りがあることが判明した場合は採用日に遡及して給与を返納することがあること、更には退職手当の全部又は一部を返納することについては、異存ありません。

履歴書作成年月日 平成 21 年 1 月 12 日

本人自筆署名・捺印

長大 太郎 印

(朱肉を用いる印を使用のこと)

(注) 訂正箇所は二重線で抹消のうえ捺印すること。